

前橋市リユースモデル事業 報告書

1. リユースモデル事業の概要

(1) プランの概要

リユース品の使用及び提供を普及啓発するイベント「リユース宝市」を開催する。テーマを「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」とし、家庭に眠る“使えるけど使わない品物”をイベント当日に持参いただき、集まったものを無料で提供・交換するイベントを開催する。市民団体、民間事業者とも連携し、残った製品等も可能な限りリユースを行う。

「リユース宝市」は、平成 26 年 12 月 21 日（土）にグリーンドーム前橋サブイベントエリアにて開催した。

対象品目

市民の方から提供いただくリユース品は、「衣類」、「ホビー用品」、「生活雑貨」、「書籍」、「育児用品」、「おもちゃ」、「家具」とし、食料品、電化製品、医療・介護機器などは対象外とした。

市民は、提供した品物が残った場合にも、持ち帰りの必要はなく、前橋市においてリユース・リサイクル可能なものを仕分けし、市民団体等でのリユース利用、リユース・リサイクル事業者への引渡し、または前橋市にて適正処理を行う。具体的には、市民団体（南橋リサイクルの会）が定期開催しているリユース品交換会に出品できるものを選別し別途保管、次いで古着・古紙を選別しそれぞれリサイクル事業者に引き渡し、これ以外のものは前橋市清掃工場等で処分する。

「リユース宝市」で対象としたリユース品

品目	詳細説明
衣類	洗濯済でまだ着られるもの、靴、かばん、帽子も対象
ホビー用品	アウトドア、スポーツ用品（ スキー、スノーボード、自転車は不可）
生活雑貨	未使用の贈答品・日用品、新品同様の小物雑貨など（ 刃物は不可）
書籍	絵本、漫画、一般書籍（ 雑誌は不可）
育児用品	マタニティ用品、ベビー用品（ チャイルドシートは不可）
玩具	ぬいぐるみ、ブロック 1 個から、知育玩具、ジャングルジムなど
家具	カラーボックス程度の小型家具、小型ソファ、衣装ケースなど汚れ破損が少なく使用できるもの（ 大型家具は不可）

取組の概要

「リユース宝市」開催に向けた事前準備等を含めたスケジュールは下記の通りである。11 月下旬～12 月上旬にかけて、市のウェブサイトでの案内、ちらしの自治体回覧、ラジオ CM の放送、地元フリークーポン紙への広告掲載などの広報活動を実施し、リユース品の事前収集を行った。

「リユース宝市」開催に向けたスケジュール

日時	取組内容
事前準備 (10～12月中旬)	<ul style="list-style-type: none"> ・資材準備、関係者との調整などの事前準備(10、11月) ・広報活動(ちらしの自治会回覧、ラジオCMの放送、ラジオ番組への出演、地元フリークーポン紙への広告掲載など 11、12月) ・リユース品の事前収集の実施(回収ボックス(3ヵ所)、粗大ごみからの料品ピックアップなど 11、12月)
12月20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、事前収集したリユース品の陳列など
12月21日(土) リユース宝市開催	<ul style="list-style-type: none"> ・午前11時～午後1時：参加者からのリユース品提供、会場内への陳列 ・午後1時～午後3時：参加者のリユース品の持ち帰り(来場者アンケート、リユース自転車の抽選会など実施) ・午後3時～：残った製品の選別・仕分け、持ち帰り
効果測定・成果取り まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・残った製品の仕分け、市民団体・事業者への引渡し ・効果測定、来場者アンケートの集計等

「リユース宝市」で提供するリユース品は、「1. イベント当日に参加者が持参」、「2. 事前に収集」の2つに大別される。

「1. イベント当日に参加者が持参する方法」は、開催当日(午前11時～午後1時まで)、会場入口付近に設置した受付において係員が市民から製品を受取り、係員が会場内に品目ごとに陳列した。

「2. 事前の収集」は、市有施設3ヵ所に事前に設置した「リユース品回収ボックス」にて拠点回収した製品、一般廃棄物収集運搬業者による未使用品等の提供、粗大ごみの集団回収及び戸別回収から良品をピックアップ、の3つの方法で準備を行った(による出品実績はなかった)。事前に収集したリユース品は、イベント前日に会場内にて品目別に陳列を行った。

リユース宝市は13時～15時に開催、会場内の混乱を防ぐため参加者の入場制限をしながら会場内に誘導し、品目別に陳列された製品の中から欲しいものを自由に持ち帰ってもらった。開始直後は多くの方に楽しんでいただく目的で持ち帰り品数を1人10点までと制限し、途中から品数の制限は解除した。

役割分担

前橋市は、「リユース宝市」の主催者として、開催に向けた企画・準備・当日運営・効果測定等を行う。市民団体「南橋リサイクルの会」はリユース品の仕分け整頓、当日の会場運営の支援を、群馬県は広報、スタッフ協力等を、前橋市一般廃棄物処理事業協同組合、前橋市再生資源事業協同組合はリユース品の提供、有限会社ハシモトはリユース宝市終了後の、残った衣類等の引き取り等を行う。

(2) 広報・PRの方法

ちらしは16,000枚作成し、自治会での回覧を実施、また、FMぐんまでのラジオCMの放映、地元密着フリークーポン紙「モテコ」での広告掲載、市ウェブサイトでの広報などを行った。

回覧 前橋市
ごみ減量課

リユース宝市は、
“使えるけれど使わない品物”を
皆さんから譲っていただき、
それを無料で提供するイベントです。

開催テーマは、
「私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」

掘り出し物を見つけに
ご家族お揃いでお越しください。
なお、早い者勝ちでお好きな物を
お持ち帰りいただくイベントですので
お早めのご来場よりお楽しみいただけます。

リユース自転車の抽選会もありますよ。

12月21日(土)

グリーンドーム前橋サブイベントエリア

午後1時～3時

※リユース自転車抽選会へご参加の方は、
午後1時30分までに会場へお越しください。

なるべく不用品を
お持ちになってのご来場を

皆さんから提供いただく品物がこのイベントの主役です。
衣服、日用品、おもちゃ、書籍…
ご家庭にある“使わない物”を当日会場にお持ちください。

早得！とにかくうれしい4つの特典

午前11時～午後1時までにご不用品を提供してくれた方

1. 優先的に入場できます(整理券配布)
2. 指定袋20枚プレゼント
3. 先着400名様に粗品をプレゼント
4. リユース自転車の当選確率5倍！

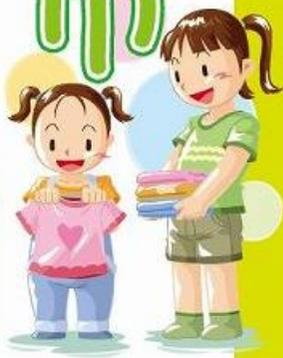


環境省モデル事業

100
リユース宝市

100
リユース宝市

初開催



今注目のリユース、
リサイクルよりもECO。

そうだ!!
ウチのアレ、
持って行こう



リユースは、“そのままの形”で再使用することをいいます。
一方でリサイクルは、新しい製品の原料にすることをいい、
運搬、選別、粉砕など多くのエネルギーやコストがかかります。
このため、よりECOなリユースが注目されています。
みなさんに、“リユースの楽しさを伝えたい”そんな気持ちで
込めてリユース宝市を開催します。

提供いただきたいもの

前橋市のご家庭から出たもので、ご自分で搬入
できるものが対象です。
※ 食品、電池製品、医薬・介護機器はご遠慮ください。

●衣類
(洗濯済でまだ着られるもの 靴、かばん、帽子もOK)

●ホビー用品
(アウトドア、スポーツ用品 ※スキー、スノーボード、自転車は不可)

●生活雑貨
(未使用の贈答品・日用品 新品同様の小物雑貨など ※刀物は不可)

●書籍
(絵本、漫画、一般書籍 ※雑誌は不可)

市役所正面玄関で
事前取寄せもしています。
※取寄せ品 糸のぼり袋
・前橋プラザ元気21(2階)
・児童文化センター
でも回収中

●育児用品
(マタニティ用品、ベビー用品 ※チャイルドシートは不可)

●おもちゃ
(ぬいぐるみ、ブロック 1個から、知育玩具、ジャングルジムなど)

●家具
(カラーボックス程度の小型家具、小型ソファ、衣装ケースなど汚れ破損が少なく使用できるもの ※大型家具は不可)



※提供いただいた品物が残った場合も、持ち帰りの必要はありません。
※このイベントは、品物をお持ちにならないでも入場でき、自由にお持ち帰りいただけます。
※イベント当日は、食用高油と使用済小型家電の回収も行います。
※高油はペットボトルに入れてよく蓋を閉めてください。(瓶割れの未使用油、ごま油等も可)



案内図

- 主催 前橋市
- 共催 群馬県
- 協賛 前橋市一般廃棄物処理事業協同組合
前橋市再生資源事業協同組合
- 協力 南橋リサイクルの会
- お問い合わせ 前橋市役所環境部ごみ減量課
☎027-898-6272

※このチラシはリサイクルできますので、不要になった場合は「雑紙」として出してください。

掘り出し物が見つかるかも？ 12月21日はリユース宝市へ

問い合わせは **ごみ減量課 ☎027-898-6272**



「リユース宝市～私にとっては不用でも、誰かにとっては宝物」を開催。下図のような家庭で眠っている再使用可能な物（リユース品）を募集し、無料で提供します。また、リユース自転車の抽選会も行います。リユース品提供者だけでなく、どなたでも参加できますので、ぜひ、ご来場ください。
日時＝12月21日(土)午後1時～3時
会場＝グリーンドーム前橋

■リユース品を譲ってください

皆さんから提供していただくリユース品がこのイベントの主役です。各家庭にある再使用可能な

リユース品を当日会場へお持ちください。受付時間は午前11時から。午後1時までにお持ちいただいた人には特典もあります。

なお、市役所や前橋プラザ元氣21、児童文化センターでは事前収集も行っています（市役所以外は育児用品とおもちゃのみ収集）。

■ボランティアスタッフを募集

リユース品の整理や分別など、当日のボランティアスタッフを募集します。

活動時間＝正午～午後4時

申し込み＝12月6日(金)までにごみ減量課へ



広報まえばし 平成25年11月15日号 4

広報まえばし・上（約14万部）

フリークーポン紙「モテコ」・下（19万2千部）

あげて、もらって。楽しい無料交換会☆

掘り出し物は早い者勝ち
無料で参加・持ち帰りOK

供。使えるけど使わない物を譲って頂き、無料でご提供。なるべく品物をお持ちになってご来場を♪

前橋市役所
ごみ減量課

リユース宝市

2013年12月21日(土)
13:00～15:00
グリーンドーム前橋

雨天決行
入場料無料

■ご提供いただきたい物■
・衣類・靴・かばん・ホビー用品
・生活雑貨・書籍・育児用品
・おもちゃ・小型の家具
※電化製品、大型家具等は不可

注目イベント!
※午後1時30分までにお越しください

リユース自転車 抽選会

①優先入場できる整理券配布
②指定袋20枚プレゼント
③先着400名様に粗品プレゼント
④リユース自転車の当選確率5倍
・11時～13時までに不用品ご提供の方
【有効期限】H25年12月21日のみ有効

リユース宝市 inグリーンドーム前橋
☎027-898-6272
園 前橋市岩神町1-2-1 園受付11:00～開始13:00～
園お問い合わせ先は前橋市役所ごみ減量課の番号です
不用品をお持ちでなくても無料で参加できます

駐車場有
イベント有
ファミリーOK
カップルOK

（特徴）
読者層の90%が
10～30代である。



<会場入り口>



<リユース品持ち込み受付>



<開場を待つ参加者>



<陳列準備中の様子>



<開場前の陳列（キッズ洋服）>



<開場前の陳列（家具類）>



<開場前の陳列（書籍）>



<開場前の陳列（自転車（抽選））>



<リユース品を探す様子 >



<リユース品を探す様子 >



<会場の様子 >



<来場者アンケートの様子 >



<リユース自転車抽選会の様子 >



<特選品じゃんけん大会の様子 >



<終了後に残った製品の様子 >



<終了後に残った製品の様子 >

本日は、ご来場頂きありがとうございました。

今後もしユースショップの活用や
お知り合いに譲るなど、
リユースへのご理解とご協力を
お願いいたします。

今注目のリユース、リサイクルよりも ECO。

リユースは、“そのままの形”で再使用することをいいます。一方でリサイクルは、新しい製品の原料にすることをいい、運搬、選別、粉碎など多くのエネルギーやコストがかかります。このため、より ECO なリユースが注目されています。



皆さんから預かっている大切な税金。

前橋市は、ごみの処理費用を削減して
身近な市民サービスに活用したいと
思っています。



ごみ減量のプロジェクト「実施中！」

G活チャレンジ! 100

本当のごみとは、再び使うこと（リユース）も、形を変えて使うこと（リサイクル）も出来ず、燃やすか埋め立てることしかできない物です。

みんなでこのことを意識してごみ減量活動に挑戦しましょう！（G活チャレンジ）

このチラシはリサイクルできますので、不用になった場合は「雑古紙」として出してください。

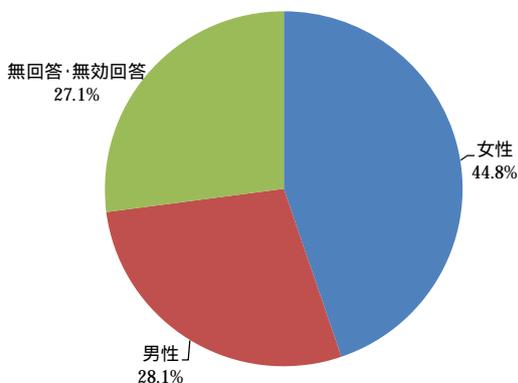
2. モデル事業の実施結果について

リユース宝市への参加者は約 800 人、うちリユース品を持参した人は約 600 人であり、持参者 1 人当たりの持込量は 2.9kg (推測) であった。来場者の属性としては、世代別で差異はあるものの、いずれの年代からの来場者があり、乳児、幼児を連れての若年世代の来場も見受けられた。

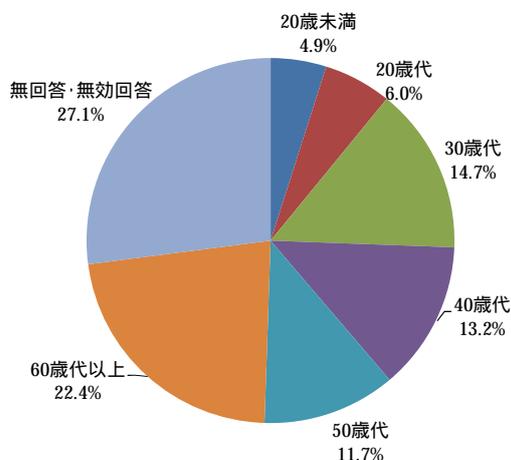
事前収集及び当日持ち込み合わせて 4,970kg (推計) のリユース品が会場内に陳列され、うち 3,915kg (推計) が持ち帰られ、リユースされたものは全体の 78.8% に相当すると推計される。

持ち帰りされずに残ったものは 1,055kg (全体の 21.2%) であり、衣類・ぬいぐるみ・かばん (800kg)、書籍 (170kg) はリサイクル事業者に、食器類とハンガーやイベント中に破損した品物などを不燃ごみ (85kg) として処理した。ごみとして処理した割合は全体の収集量のうち 1.7% であった。

図表 1 性別 (N=469)



図表 2 年齢 (N=469)



リユース品の内訳 (単位: kg)

	リユース品の内訳 (単位: kg)			リユース率	
	事前収集	当日持込	合計重量	残量	リユース率
本	400	220	620	170	72.6%
洋服 キッズ	400	220	620	140	77.4%
おもちゃ	180	100	280	10	96.4%
くつ	80	50	130	0	100.0%
帽子	40	20	60	0	100.0%
かばん	100	50	150	10	93.3%
洋服 レディース	1,000	550	1,550	550	64.5%
洋服 メンズ	300	160	460	90	80.4%
ホビー用品	130	70	200	0	100.0%
家具	100	60	160	20	87.5%
日用雑貨	220	120	340	15	95.6%
食器類	260	140	400	50	87.5%
合計	3,210	1,760	4,970	1,055	78.8%

品目別に一部分を計量し、全体量を推計して重量を算出した。

残量は、全量を計量した。



< リユース品の提供量の様子 >



< リユース品の残量の様子 >

3. モデル事業の達成度・来場者の満足度について

イベントの目標として設定した値をいずれの項目も達成した。

来場者の満足度について、「リユース宝市」を利用した際の満足度をスコア化して整理する。

「全体について」は、1.01 ポイントとなっており、全体的にやや満足していただいたと推察される。一部指摘された会場・運営・マネジメントの方法などについて改善を行うことで、これら満足度も向上すると考えられる。

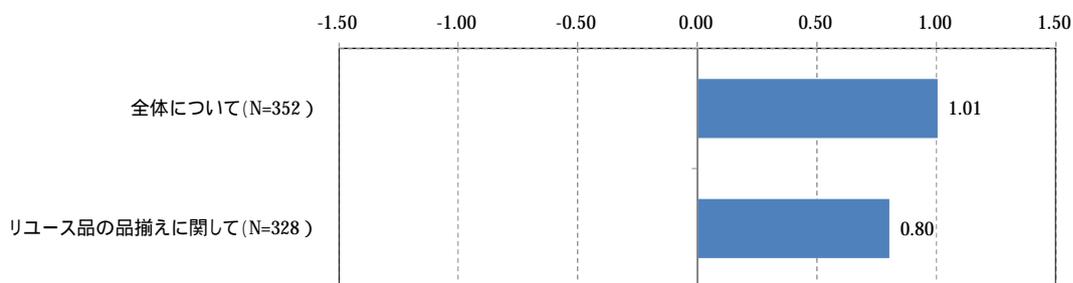
また、「リユース品の品ぞろえ」については、0.80 ポイントとなっている。自由回答をみると、全体的な品数や品揃えは悪くはないが、会場の混雑、陳列の方法や、特定の製品の人気があって殺到したことなどにより、やや評価が低くなったものと考えられる。

今後の継続については、「継続してほしい」と回答した人が、73.6%（345 件）と7割以上となっている。一方で、継続の必要はないと回答した人は、わずか0.4%（2 件）であり、ほとんどの人が継続を期待しているものといえる。

モデル事業の達成度

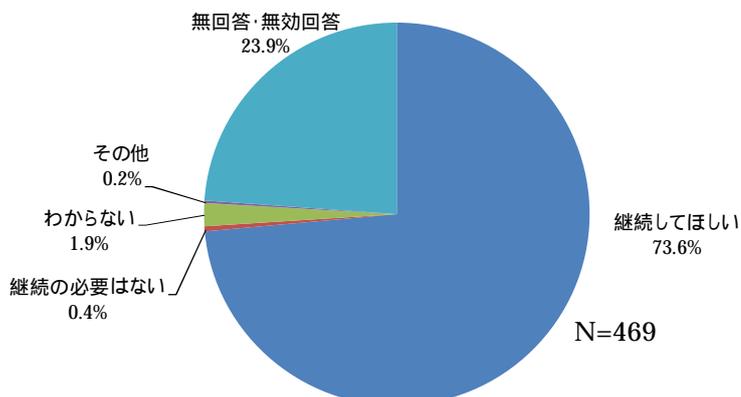
項目	当初目標値	実績	評価
来場者数	500 名	約 800 名	達成
リユース率	60%	78.8%	達成
アンケート回答数	300 件	469 件	達成

図表 3 「リユース宝市」の満足度



満足を 2 点、やや満足を 1 点、普通を 0 点、やや不満を - 1 点、不満を - 2 点とし点数化、回答数で除することでスコア化する。

図表 4 「リユース宝市」の今後の継続意向



4. モデル事業の事業採算性について

リユース宝市に要した差引経費は概算で 1,980,540 円であった。今回リユース又はリサイクルされた 4,885kg をごみとして処理した場合に係る費用は 188,072 円(計算上の数値: 処理経費 38.5 円/kg より算出)にとどまった。その他の効果を数値で算出することは困難であるが、啓発ちらしや広報紙によるイベント実施の啓発にあたり広く「リユース」という言葉を普及でき多くの市民に不用品の提供をいただけたこと、また不用品が新しい持ち主の手に渡る過程の体験を提供できたことなどは、今後の環境意識、リユース意識の醸成に繋がるものであったといえる。

「リユース宝市」に要した経費等 (単位 : 円)

支出合計	1,996,385		
モデル事業補助	988,385		
広報費	222,810	(1) 啓発ちらし (16,000 枚)	112,560
		(2) フリークーポン紙広告掲載 (1 回、12 月号)	47,250
		(3) ラジオ CM 広告 (1 日 1 回 15 秒放送 × 10 回)	63,000
事業費	765,575	(1) 拠点回収箱購入 (9 個)	65,205
		(2) ブルーシート (16 枚)	78,960
		(3) のぼり旗 (30 本)	119,700
		(4) 屋外用立看板 (2 台)	88,200
		(5) 来場記念品 (液体薬用石鹸 400 個等)	115,760
		(6) リユース自転車整備費用 (20 台)	100,000
		(7) 会場借上料	197,750
モデル事業対象外	1,008,000		
人件費 (概算)	988,000	(1) 事前準備等 (延べ 100 時間)	260,000
		(2) 前日準備、当日従事 (延べ 280 時間)	728,000
その他諸経費	20,000	(1) 車両燃料費、消耗品等	20,000
歳入合計	15,845		
古着等売却益	14,400	洋服、ぬいぐるみ、かばん (800kg)	
古紙売却益	1,445	書籍 (170kg)	
差引	1,980,540		

【アンケートの自由回答より環境意識の醸成に関する回答例】

- ・まだ使えるものを有効に回せて大変有意義だと思う。(3 名)
- ・リユースをするのはとても良いことだと思います。
- ・捨てればゴミだけど、他の人から見ると宝物にもなると感じました!!
- ・はじめてでしたが、子どもにもリサイクルの意味など教えられて良いと思います。
- ・大事にしていたぬいぐるみを持参した。新たにかわいがっていただけと思うと嬉しく思う。
- ・捨てられないものがあつたが、必要な人にもらってもらえると良いと思う
- ・来年もあるなら、リユースできる物をおいておきたいです。
- ・こんなに盛大だとは思いませんでした。来年は商品も提供したいと思っています。
- ・今度は持ってこようと思います
- ・新品同様が未使用のものしか出せないものと思っていましたが、使いこんだものも多くみられ、持っていく方も多くいるようだったので次回はもっと出せるものがありそうです。

5. モデル事業の成果（まとめ）

（1）ごみの減量

持ち込まれたリユース品のほとんどが普段はごみとして排出されているものであるため、新しい持ち主の手に渡ったことで、ごみの排出抑制につながった。

（2）ごみ減量意識の高揚

リユース宝市を機会にこれまでリユースを考えていなかった多くの市民が、リユースを理解するきっかけになった。

（3）若年世代への啓発

前橋市では、消費が多くもったもごみを出す若年世代への普及啓発を強化している。リユース宝市では、従来型の環境イベントや環境講話では来場が見込めない方々が多く来場されリユースへの理解を深める良い啓発機会であった。

6. 今後の取り組み方針

（1）本事業は来場者の継続要望もあることから、前橋市として来年度も継続して実施することを予定している。

（2）単なる一過性のお得なイベントとしてではなく、規模は小さくなくても地域に根ざした活動になるよう広め、市民団体による自主的な運営等に発展させたい。

（3）市民にまずリデュース、リユースを考えていただき、リサイクルできないものだけがごみであると意識していただけるような啓発を進めたい。

前橋市「リユース宝市」来場者アンケート（集計結果）

<目次>

1 . アンケート調査の概要.....	1
1.1 調査目的.....	1
1.2 調査対象・調査方法.....	1
2 . 「リユース宝市」来場者アンケート調査結果.....	2
2.1 回答者の属性.....	2
2.2 「リユース宝市」の利用状況.....	4
2.2.1 リユース宝市での参加内容.....	4
2.2.2 持ち込んだ製品の概要.....	5
2.2.3 リユースショップではなく「リユース宝市」への持参した理由.....	6
2.2.4 品目別の持ち込み製品の概要.....	7
2.2.5 品目別の持ち帰り製品の概要.....	10
2.3 「リユース宝市」に対する満足度、今後の意向.....	13
2.3.1 参加した満足度.....	13
2.3.2 今後の継続について.....	14
2.4 「リユース宝市」に対する自由回答.....	14

1 . アンケート調査の概要

1.1 調査目的

平成 25 年 12 月 21 日（土）に開催した「リユース宝市」に参加した方を対象に、参加目的、利用内容、イベントの認知機会、利用した感想などを把握し、事業成果・効果の把握および事業推進時の今後の課題・改善点を明らかにすることを目的とする。

1.2 調査対象・調査方法

「リユース宝市」に参加した市民を対象に実施した。会場であるグリーンドーム前橋サブイベントエリアの出入り口付近において、係員よりアンケート調査票を手渡しし、その場で回答していただき、回収を行った。

アンケート調査票の配布・回収は「リユース宝市」の開催期間中、平成 25 年 12 月 21 日（土）午後 1 時～午後 3 時とした。

回収したアンケート調査票は 469 件となった。

なお、アンケートは A4 サイズの用紙で 2 ページ（裏表）であったが、回答の 1/4 程度（112 人）が裏面を回答しないまま回収されている。回収時に、係員より裏面も回答をお願いしていたが、短時間に多くの方が回答しており、十分な周知が困難であったことも原因の 1 つである。

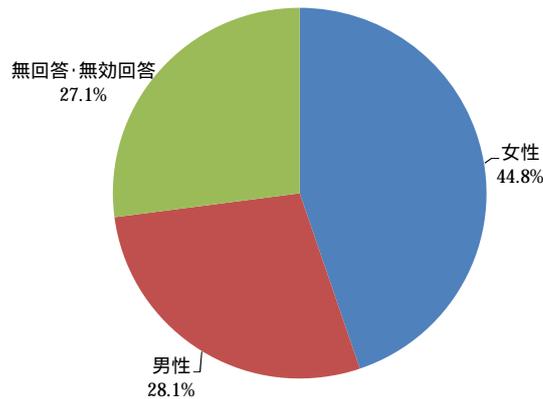
2. 「リユース宝市」来場者アンケート調査結果

2.1 回答者の属性

(1) 性別

アンケート回答者の性別について、「女性」が44.8%(210件)、「男性」が28.1%(132件)となった。女性の方が多くなっている。

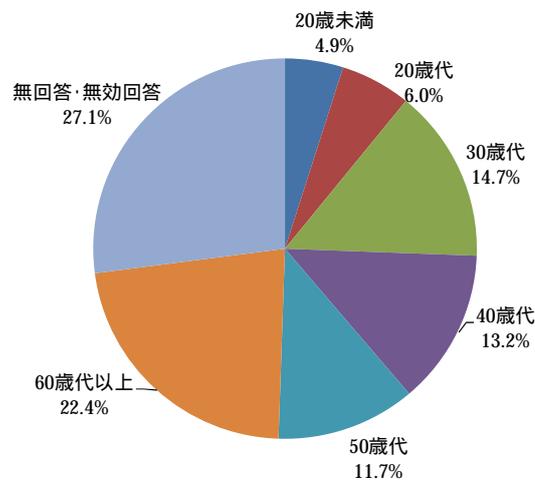
図表 1 性別 (N=469)



(2) 年齢

アンケート回答者の年齢について、最も多かったのは「60歳代以上」で22.4%(105件)、次いで「30歳代」が14.7%(69件)、「40歳代」が13.2%(62件)と続いた。世代別で差異はあるものの、いずれの年代でも利用されていることが伺える。

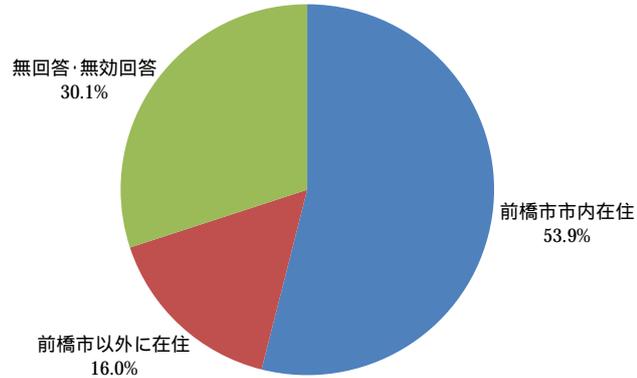
図表 2 年齢 (N=469)



(3) 住所

アンケート回答者の住所については「前橋市市内在住」が 53.9% (253 件)、「前橋市外に在住」が 16.0% (75 件) となっている。

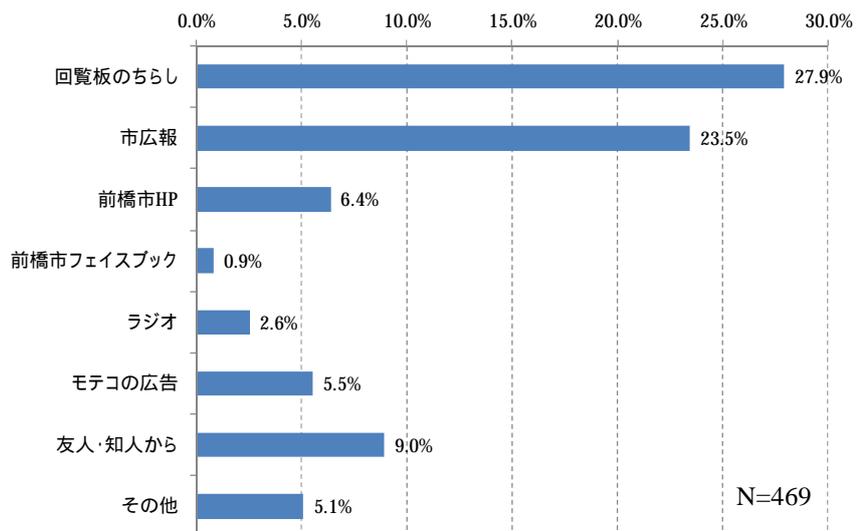
図表 3 住所 (N=469)



(4) 来場したきっかけ

来場したきっかけについて、最も多かったのは「回覧板のちらし」が 27.9% (131 件)、次いで「市広報」が 23.5% (110 件) となっている。また、「友人・知人から」も、9.0% (42 件) となっており、口コミによる回答も 1 割程度みられた。

図表 4 来場したきっかけ



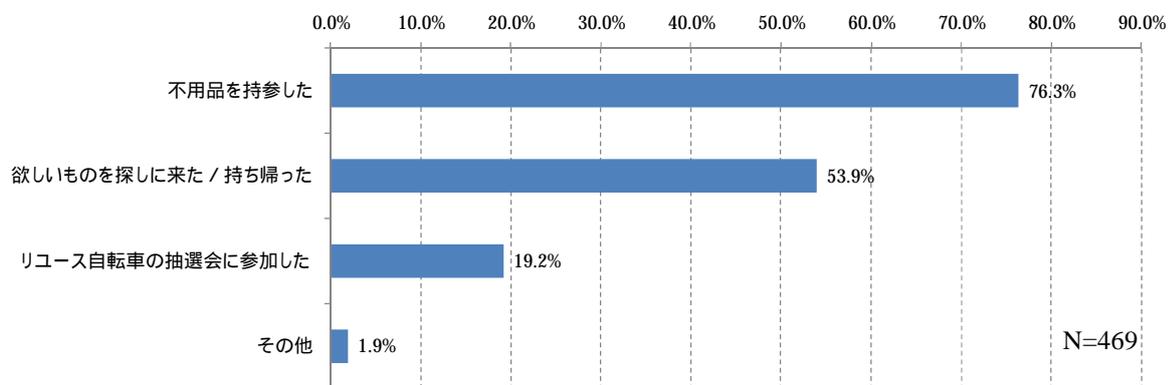
2.2 「リユース宝市」の利用状況

2.2.1 リユース宝市での参加内容

リユース宝市での参加としては、「不用品を持参した」との回答が、76.3%（358件）となっており7割以上の方が不用品の持参をいただいている。また、「欲しいものを探しに来た／持ち帰った」が53.9%（253件）となっている。両者を足し合わせると100%以上となっており、不用品を持参しつつ、別の自分の必要なものを持ち帰る人も相当数いると思われる。

また、「リユース自転車の抽選会の参加」と回答した人も、2割程度おり、「自転車」に対するニーズは比較的高いといえる。

図表 5 参加内容



2.2.2 持ち込んだ製品の概要

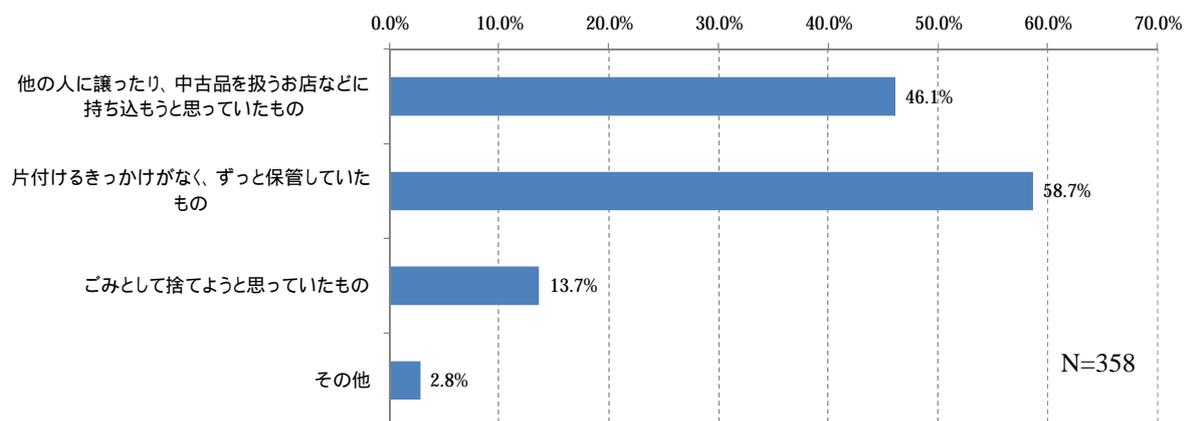
「不用品を持参した」と回答した人を対象に、その製品について尋ねたところ、「片付けるきっかけがなく、ずっと保管していたもの」との回答が58.7%（210件）と最も多く、自宅で退蔵していた不用品が多く持ち込まれたことが推察される。

また、「他の人に譲ったり、中古品を扱うお店などに持ち込もうと思っていたもの」が46.1%（165件）となっている。また、「ごみとして捨てようと思っていたもの」と回答した人も、1割強みられた。

「リユース宝市」の機会がなければ、自宅で利用されず退蔵され続け、最終的には廃棄されてしまうと思われる製品や、ごみとして廃棄しようとしていたものが相当数持ち込まれており、リユースの促進を通じて、ごみの排出削減にも繋がった可能性がある。

自宅で有用に活用されていなかった製品がこの機会にリユースされたことが、「よかった」「有意義である」といった高評価につながっていることが推測される。

図表 6 持ち込んだ製品の概要



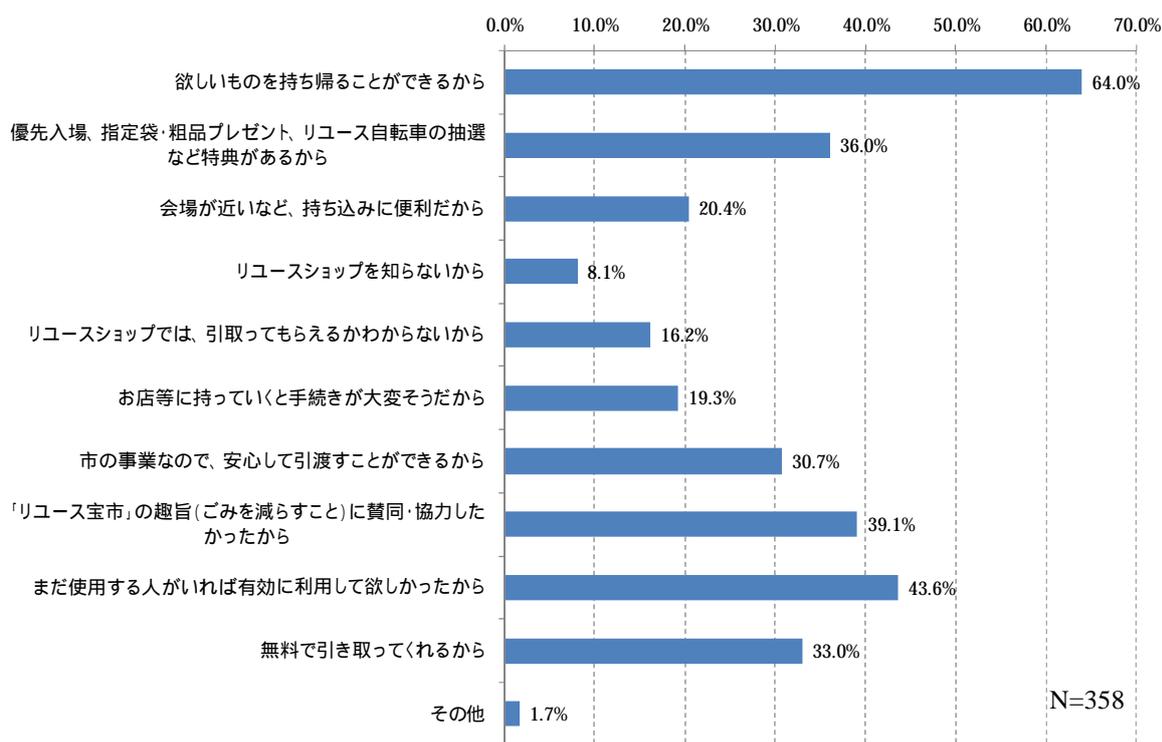
2.2.3 リユースショップではなく「リユース宝市」への持参した理由

リユースショップではなく「リユース宝市」への持参した理由としては、「欲しいものを持ち帰ることができるから」と回答した人が 64.0%（229 件）と最も多い。欲しいものを持ち帰ることができることが、不用品の持ち込み促進にも繋がったことが推察される。

また、自由回答にもあるように、リユースショップでは必ずしもすべてを引き取ってもらえるわけでもなく、引き取り価格が予想以上に安い、商品にならないものは処分されるといったこともある。そうした背景から「まだ使用する人がいれば有効に利用してほしいから」という回答が 43.6%（156 件）と次いで多くっており、リユースショップのように選別されず欲しい人がいれば利用してもらえる、無駄にならないといった意識がリユース宝市への持ち込みにつながっているといえる。

また、次いで多いのが「リユース宝市」の趣旨（ごみを減らすこと）に賛同・協力したかったから」ともなっており、これらの回答状況をみると、自分の損得に加え、開催趣旨に賛同といった精神的な要素も影響していることがうかがえる。

図表 7 リユースショップではなく「リユース宝市」に持ち込んだ理由



【自由回答より】

- ・リサイクルに持って行っても10円20円50円単位でしかとってくれない。利用してくれる人に使ってもらった方が良いと思う。
- ・リサイクルshopに持って行くより必要な人に使ってもらえるので、これからも続けてもらいたいと思います。また、必要なものも頂きました。
- ・リサイクルショップにも品物を持って行った事があるが、ガソリン代にもならなかった。ここだと気に入った物をいくつか持ち帰れるのでお得感もある。お店に持って行くより気持ち的にも良い。

2.2.4 品目別の持ち込み製品の概要

(1) 品目別の持ち込みされた製品の数量

アンケートより把握される品目別の持ち込み人数、数量などを図表 8、図表 9 に整理する。

アンケート回答者（469 人）の品目別の持ち込み状況を整理すると、「衣類・靴・かばん・帽子」を持ち込んだ人が最も多く 232 人、1 人あたりの平均個数は 7.1 個/人、次いで「生活雑貨」がそれぞれ 148 人、5.1 個/人、「おもちゃ」がそれぞれ 72 人、5.7 個/人となっている（図表 8）。

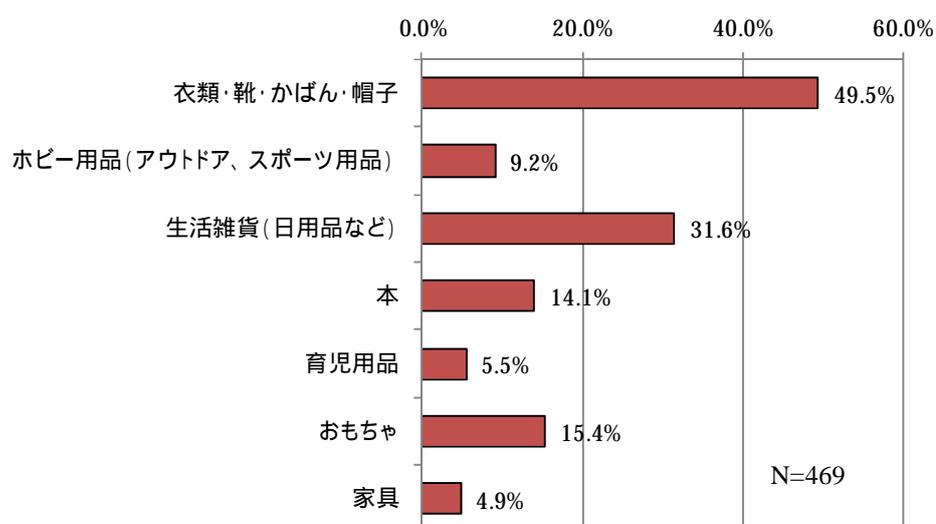
アンケート回答者数に占めるある品目を持ち込んだ人の割合を出現率とし、品目別に比較すると、「衣類・靴・かばん・帽子」を持ち込んだ人の出現率が 49.5%と最も多く、次いで「生活雑貨」が 31.6%、「おもちゃ」が 15.4%、「本」が 14.1%、「ホビー用品」が 9.2%、「育児用品」が 5.5%、「家具」が 4.9%と続く（図表 9）。

図表 8 品目別の持ち込みされた製品の数量（N=469）

	衣類・靴・かばん・帽子	ホビー用品 (アウトドア、 スポーツ用品)	生活雑貨(日 用品など)	本	育児用品	おもちゃ	家具
持ち込み人数(人)	232	43	148	66	26	72	23
持ち込み数量(個、冊)	1649	186	753	432	138	412	40
平均個数(個、冊/人)	7.1	4.3	5.1	6.5	5.3	5.7	1.7
出現率()	49.5%	9.2%	31.6%	14.1%	5.5%	15.4%	4.9%

出現率=持ち帰り人数/アンケート回答者数（469 人）

図表 9 品目別の持ち込み人数の割合（出現率）

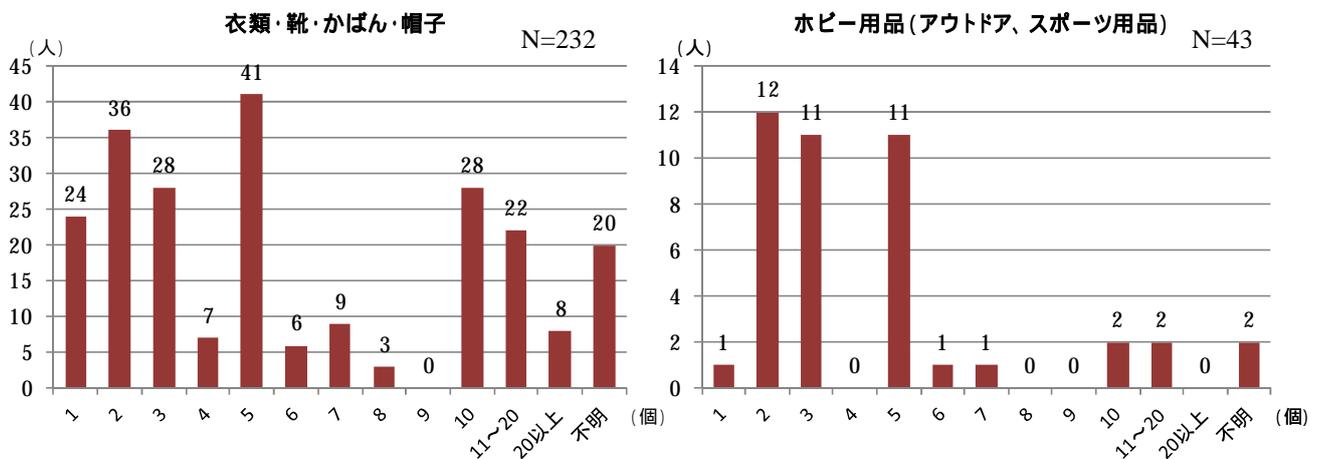


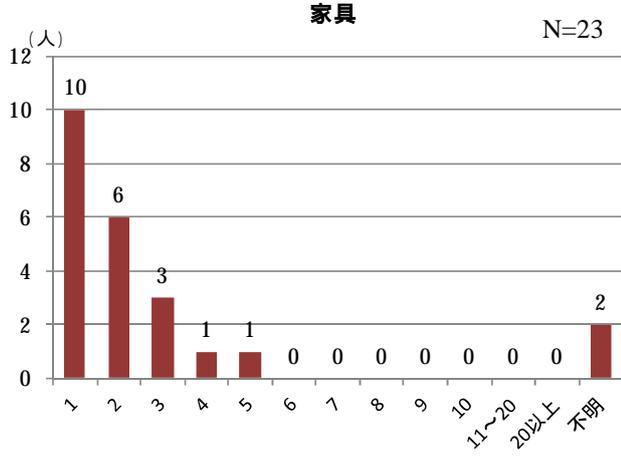
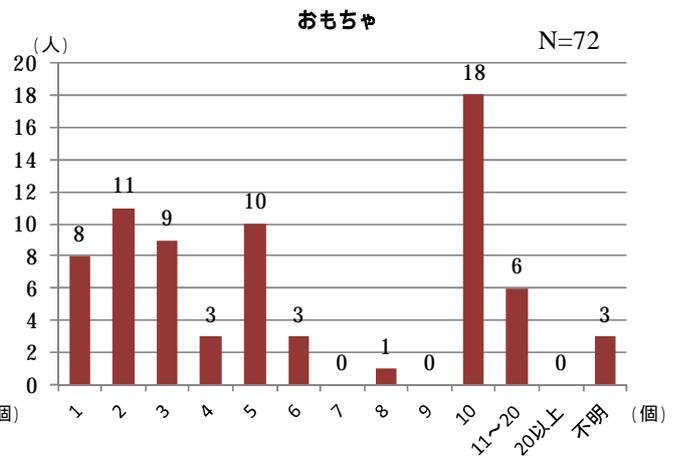
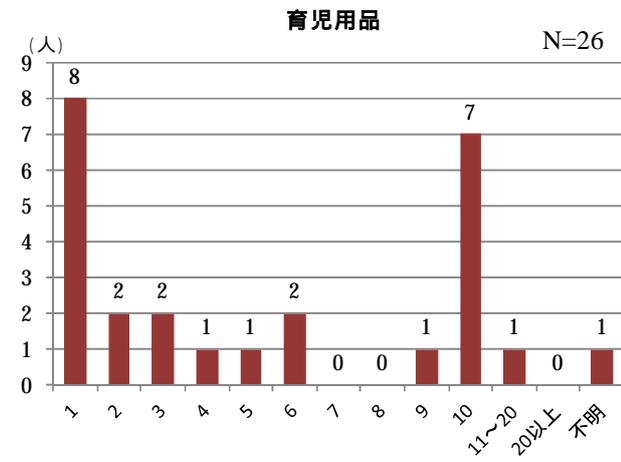
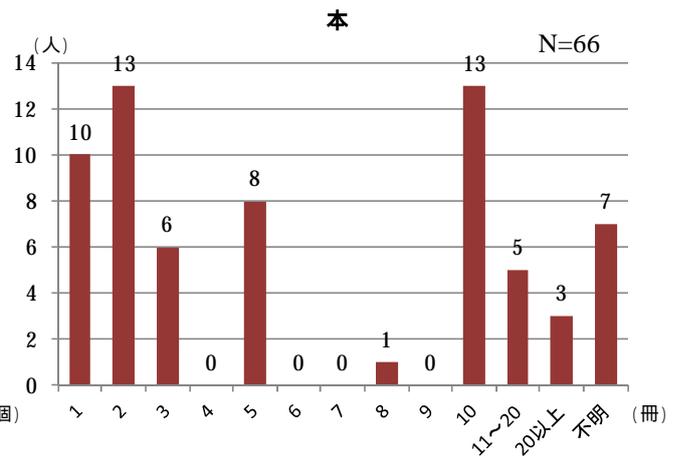
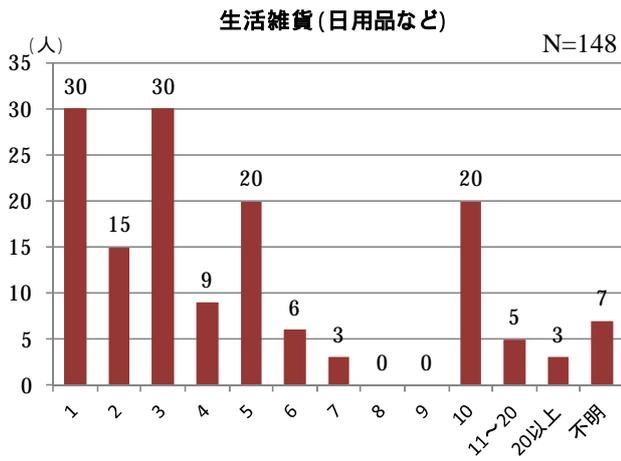
(2) 1人あたりの品目別の持ち込み数量

持ち込みされた方の品目別の持ち込み数量について、図表 10 に整理する。品目ごとの特徴を整理する。

- ・「衣類・靴・かばん・帽子」は、「5個」との回答が最も多く41人、次いで「2個」(36人)、「3個」「10個」がそれぞれ28人と続く。全体の傾向としては、「1~5個」、「10~20個」といった範囲で回答が多い。(平均は7.1個/人)
- ・「ホビー用品」は、「2個」との回答が最も多く12人、次いで「3個」「5個」がそれぞれ11人と続く。全体の傾向としては「1~5個」の回答が多い。(平均は4.3個/人)
- ・「生活雑貨」は、「1個」「3個」といの回答が最も多くそれぞれ30人、次いで「5個」「10個」との回答が28人となっている。全体の傾向としては「1~5個」が多く、「10個」との回答も一定数存在する。(平均は5.1個/人)
- ・「本」は、「2冊」「10冊」との回答が最も多く13人、次いで「1冊」が10人となっている。全体の傾向としては「1~3冊」の少量を持参された方と、「10冊以上」とまとまって持参された方に大きく分かれる。(平均は6.5冊/人)
- ・「育児用品」は、「1個」との回答が最も多く8人、次いで「10個」が7人となっている。全体の傾向としては少量を持参された方と、「10個以上」とまとまって持参された方に大きく分かれる。(平均個数は5.3個/人)
- ・「おもちゃ」は、「10個」との回答が最も多く18人、次いで「2個」が11人、「5個」が10人、「3個」が9人、「1個」が8人と続く。全体の傾向としては「1~5個」との回答が多いが、「10個」との回答も一定数存在する。(平均は5.7個/人)
- ・「家具」は、「1個」との回答が最も多く10人、次いで「2個」が6人、「3個」が3人と続く。6個以上持参された方は確認されず、少数を持参された方が多い。(平均は1.7個/人)

図表 10 品目別の持ち込み数量(人数)





2.2.5 品目別の持ち帰り製品の概要

(1) 品目別の持ち帰りされた製品の数量

アンケートより把握される品目別の持ち帰り人数、数量などを図表 11、図表 12 に整理する。

アンケート回答者(当該設問無回答者 112 人を除く 357 人)の品目別の持ち帰り状況を整理すると、「衣類・靴・かばん・帽子」を持ち込んだ人が最も多く 150 人、1 人あたりの平均個数は 4.6 個/人、次いで「生活雑貨」がそれぞれ 136 人、4.1 個/人、「本」がそれぞれ 84 人、4.5 冊/人となっている(図表 11)。

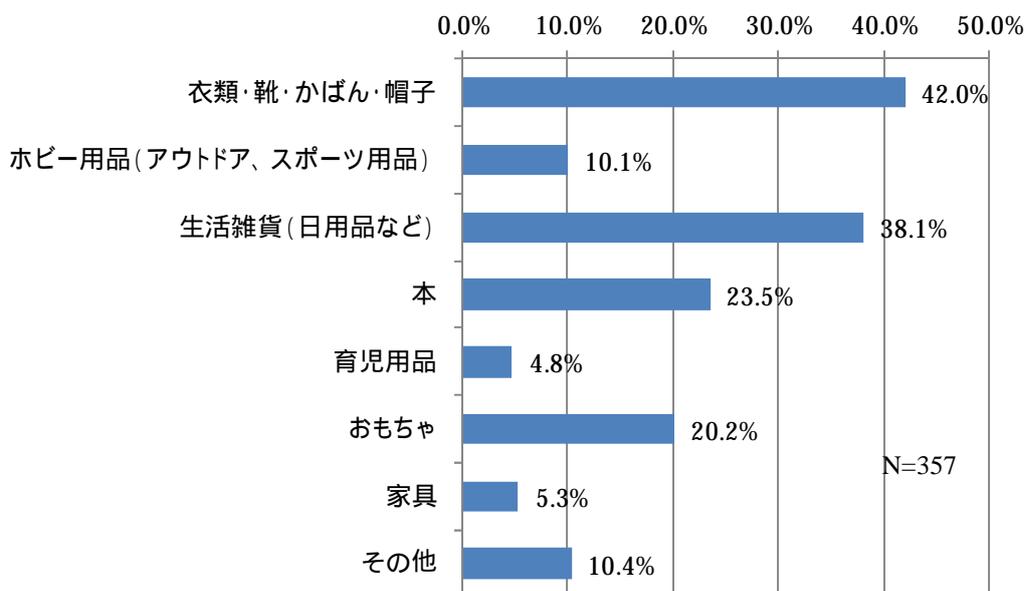
アンケート回答者数に占めるある品目を持ち帰った人の割合を出現率とし、品目別に比較すると、「衣類・靴・かばん・帽子」を持ち込んだ人の出現率が 42.0%と最も多く、次いで「生活雑貨」が 38.1%、「本」が 23.5%、「おもちゃ」が 20.2%、「その他」が 10.4%、「ホビー用品」が 10.1%、「育児用品」が 4.8%、「家具」が 5.3%と続く(図表 12)。

図表 11 品目別の持ち帰りされた製品の数量 (N=357)

	衣類・靴・かばん・帽子	ホビー用品 (アウトドア、スポーツ用品)	生活雑貨(日用品など)	本	育児用品	おもちゃ	家具	その他
持ち帰り人数(人)	150	36	136	84	17	72	19	37
持ち帰り数量(個、冊)	692	79	557	376	49	277	39	130
平均個数(個、冊/人)	4.6	2.2	4.1	4.5	2.9	3.8	2.1	3.5
出現率()	32.0%	7.7%	29.0%	17.9%	3.6%	15.4%	4.1%	7.9%

出現率=持ち帰り人数/アンケート回答者数(357人)
アンケート回答者数について、裏面無回答者(112人)を除く

図表 12 品目別の持ち帰り人数の割合(出現率)

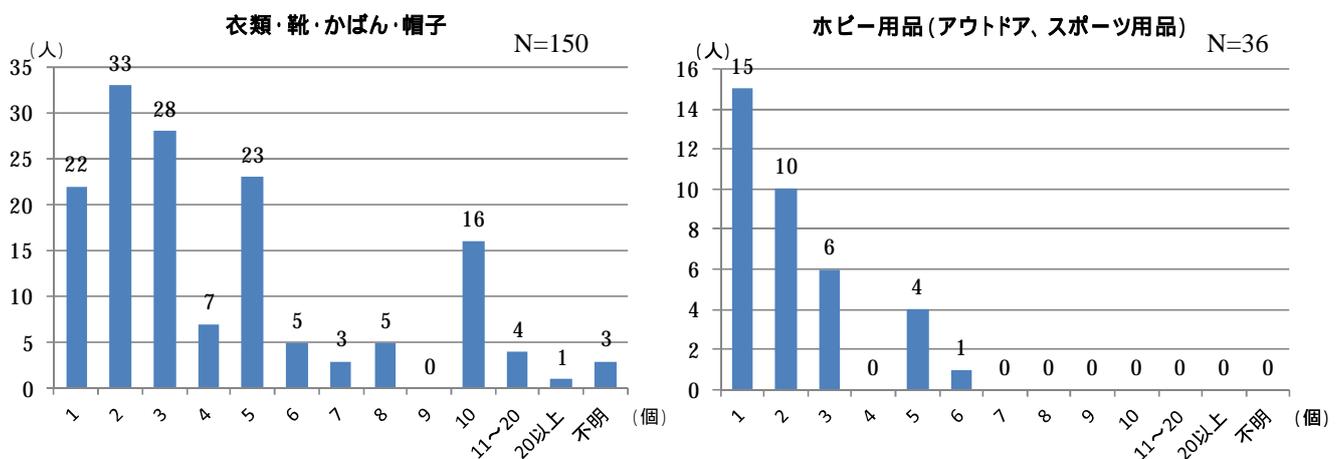


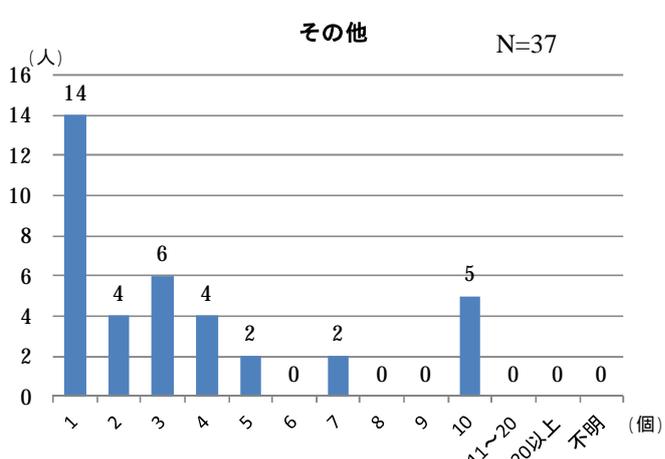
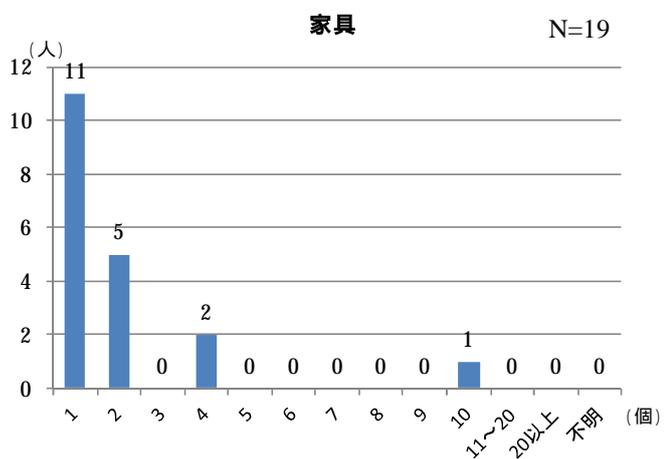
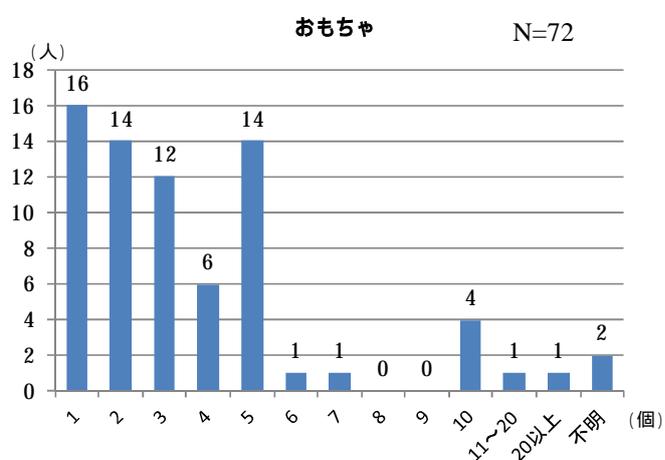
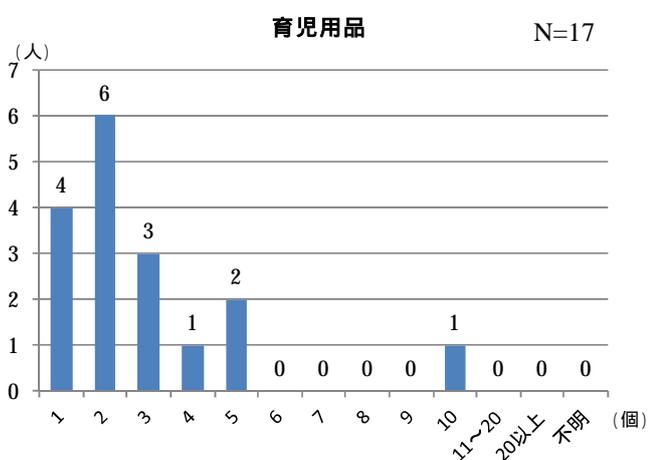
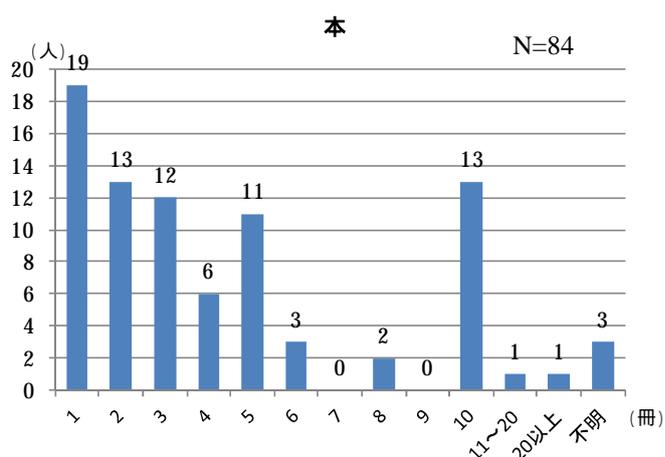
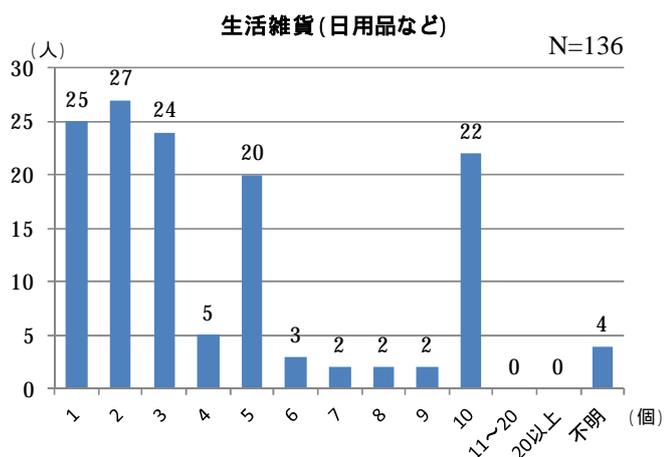
(2) 1人あたりの品目別の持ち帰り数量

持ち込みされた方の品目別の持ち帰り数量について、図表 13 に整理する。品目ごとの特徴を整理する。

- ・「衣類・靴・かばん・帽子」は、「5個」との持ち帰った人が最も多く33人、次いで「3個」が28人、「5個」が23人と続く。全体の傾向としては、「1~5個」、「10~20個」といった範囲で回答が多い。(平均は4.6個/人)
- ・「ホビー用品」は、「1個」との回答が最も多く15人、次いで「2個」10人と続く。「1~3個」の回答が多い。(平均は2.2個/人)
- ・「生活雑貨」は、「2個」という回答が最も多く27人、次いで「1個」が25人、「3個」が24人、「10個」が22人となっている。全体の傾向としては「1~5個」が多く、「10個」との回答も一定数存在する。(平均は4.1個/人)
- ・「本」は、「1冊」との回答が最も多く19人、次いで「2冊」「10冊」がそれぞれ13人となっている。全体の傾向としては「1~5冊」の少量を持ち帰った方と、「10冊以上」とまとまって持ち帰った方に大きく分かれる。(平均は4.5冊/人)
- ・「育児用品」は、「2個」との回答が最も多く6人、次いで「1個」が4人となっている。全体の傾向としては「1~3個」の回答が多い。(平均個数は2.9個/人)
- ・「おもちゃ」は、「1個」との回答が最も多く16人、次いで「2個」「5個」が14人、「3個」が12人と続く。全体の傾向としては「1~5個」との回答が多い。(平均は3.8個/人)
- ・「家具」は、「1個」との回答が最も多く10人、次いで「2個」が5人続く。「1~2個」程度の少数を持ち帰った方が多い。(平均は2.1個/人)
- ・「その他」は、「1個」との回答が最も多く14人、次いで「3個」が6人、「10個」が5人と続く。

図表 13 品目別の持ち込み数量(人数)





2.3 「リユース宝市」に対する満足度、今後の意向

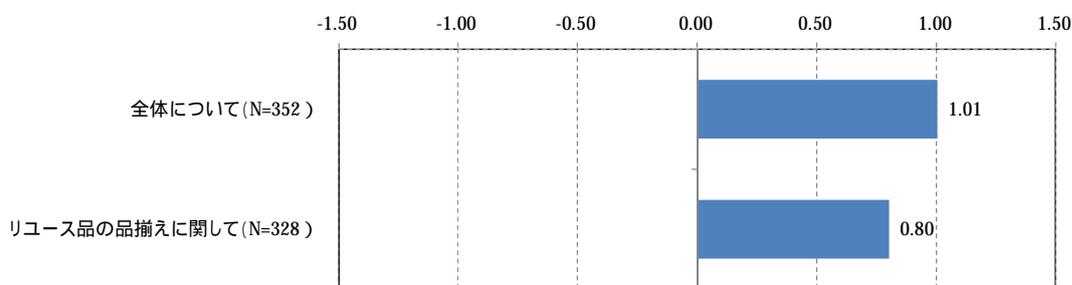
2.3.1 参加した満足度

「リユース宝市」を利用した際の満足度をスコア化して整理する。

「全体について」は、1.01ポイントとなっており、全体的にやや満足していただいたと推察される。前述にもあるように「リユース宝市」の趣旨については賛同されているため、自由回答等で指摘されている会場・運営・マネジメントの方法などについて改善を行うことで、これら満足度も向上すると考えられる。

また、「リユース品の品ぞろえ」については、0.80ポイントとなっている。自由回答をみると、全体的な品数や品揃えは悪くはないが、会場の混雑、陳列の問題や、特定の製品の人気があって殺到したことなどにより、やや評価が低くなったものと考えられる。

図表 14 「リユース宝市」の満足度



満足を2点、やや満足を1点、普通を0点、やや不満を-1点、不満を-2点とし点数化、回答数で除することでスコア化する。

【自由回答より】

(会場の混雑によるもの)

・人が多くてよく見れなかった。

(陳列の悪さによるもの)

・どこに何があるかわからない

・部屋ごとに洋服、おもちゃなど分かれているとごったがえさなくてよい。

・展示品、特に衣類が平積みでみつけづらい(品物サイズ等見るのに大変、少し分けてほしい等)(4名)

・品物がとりにくい

(特定な品に対する数や種類の少なさによるもの)

・大型家具、自動車部品等もあれば良い

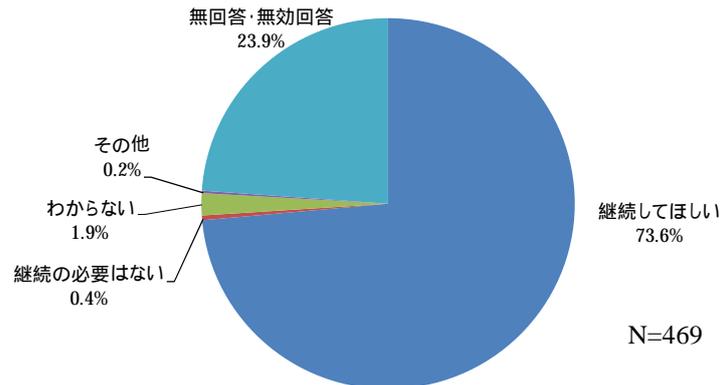
・子供が生まれるのでベビー用品を探しに来ましたがもう少し品揃え良いといいと思いました。特にベビー用品は高価な割には一時的にしか使わない物が多いと思うので、もっとPRしてもらって来年に期待したいと思います。

・本が少なかった。

2.3.2 今後の継続について

今後の継続については、「継続してほしい」と回答した人が、73.6%(345件)と7割以上となっている。一方で、継続の必要はないと回答した人は、わずか0.4%(2件)であり、ほとんどの人が継続を期待しているものといえる。

図表 15 「リユース宝市」の今後の継続意向



2.4 「リユース宝市」に対する自由回答

アンケートの自由回答について、意見の趣旨ごとに分類して以下に整理する。

リユース宝市の仕組みに対して

全体評価として良かった(25名)

例)

- ・参加して良かった
- ・大変良かったと思います。
- ・初めてですのでとてもよいリユース宝市だと思った。

イベントの趣旨に賛同

- ・良い試み、素晴らしい試みだと思う。(6名)
- ・まだ使えるものを有効に回せて大変有意義だと思う。(3名)
- ・リユースをするのはとても良いことだと思いました。
- ・使えるものを有効に使うのはよい
- ・初参加ですが、いいイベントだと思います
- ・交換の発想が面白かった
- ・再利用の趣旨に賛同。
- ・楽しかった。リサイクルすればゴミが減る。
- ・捨てればゴミだけど、他の人から見ると宝物にもなると感じました!!
- ・はじめてでしたが、子どもにもリサイクルの意味など教えられて良いと思います。
- ・エコな催しで良いと思う。ほしい人、いらぬ人の利害があっているから。
- ・新品同様か未使用のものしか出せないものと思っていましたが、使いこんだものも多くみられ、持っていく方も多くいるようだったので次回はもっと出せるものがありそうです。家で眠っているものがムダにならず大変良いイベントだと思いました。

必要な人にもらってもらえるのがよい

- ・捨てられないものがあつたが、必要な人にもらってもらえると良いと思う
- ・自分にとっては不要なものであつても、他の人には必要ということもあるかも知れません。ごみとして処理されてしまうのはもったいない。
- ・自分の不用なものでも他のの方に使ってもらえるならありがたいし、その逆も助かるので、
- ・リサイクルが好きだから
- ・自分が不要でも人が必要なものがあれば、こういう機会は良いと思う。
- ・誰かにつかってほしかったので、ありがたいです。でも、持ちきれないものがまだ家に沢山あります。
- ・わが家の不用品を利用してくれる方がいたら、うれしい。
- ・捨てるにはもったいないと思っていた服を誰かに有効活用してもらえるのはとても嬉しいです。また次回があれば参加します。
- ・大事にしていたぬいぐるみを持参しました。新たにかわいがっていただけると思うと嬉しく思います。
- ・うれしいし、ありがたい。

リサイクルショップ利用よりお得、有意義である

- ・リサイクルに持って行っても 10 円 20 円 50 円単位でしかとってくれない。利用してくれる人に使ってもらった方が良いと思う。
- ・リサイクル shop に持って行くより必要な人に使ってもらえるので、これからも続けてもらいたいと思います。また、必要なものも頂けました。
- ・リサイクルショップにも品物を持って行った事があるが、ガソリン代にもならなかった。ここだと気に入った物をいくつか持ち帰れるのでお得感もある。お店に持って行くより気持ち的にも良い。

得をする

- ・無料で使えるものがもらえるのがよい
- ・不要なものを引き取ってもらえて、また必要なものが手に入るなんてすごく助かります!(特に子供服)
- ・得をした

リユースされなかった製品について

- ・リユースされず、残ってしまった物はどうするのか?と思います。報告していただけたら(チラシなどで)...と思います。

不満点・改善点(会場やオペレーション)

混雑が気になった

- ・人ごみがすごい/人が多くて大変だった(8名)
- ・並ぶのが疲れた。
- ・人が多くてよく見れなかった。(2名)
- ・人の熱気に圧倒された。

商品陳列が雑/整理されていない

- ・どこに何があるかわからないので、欲しい物以外のものをもらってきました。
- ・部屋ごとに洋服、おもちゃなど分かれているとごったがえさなくてよい。
- ・展示品、特に衣類が平積みでみつけづらい(品物サイズ等見るのに大変、少し分けてほしい等)(4名)
- ・品物がとりづらい。
- ・次回はもっと見やすくしてほしい。
- ・ベビー用品のみ別コーナーにしてほしい(特に衣類は見つけづかった)

会場が狭い

- ・部屋が狭くて大変(4名)
- ・もっと広いところでしてもらいたい(3名)
- ・参加者が多いので、もっと広い場所を使用できたらいいと思う。
- ・会場が暑かった(2名)

商品の質が悪い

- ・せっかくのリユース品も競争になって持っていくので破損しているものもあり、残念。

段取り・運営が悪い

- ・水色と白色の紙の人が、どこに並んで良いか迷っていた。
- ・優先の紙の意味がなかった。
- ・持ち込みの仕方がわかりづらい。
- ・すこし雑だった。
- ・スタッフをふやしてほしい。
- ・もう少しマネジメントをよくしてほしい。
- ・入場した時には、ほぼ商品がなかった。特におもちゃ。
- ・皆の目ざとさにビックリ!!ほしい物が見つからなかった(すでに入手に渡っていた)。持ち持ち帰り品数が徹底されていなかった。
- ・初めてなので、段取りが悪かったです。回をかさねる毎に良くなると思うので今後に期待します。
- ・列の誘導を再考する必要あり。市役所スタッフ棒立ちが見受けられた。人整理の研修をうけられたい。

駐車場が使いにくい/駐車場のマネジメントが悪い

- ・駐車場がとめにくかった。
- ・駐車場に空きが十分あるにもかかわらず満車の表示を出していることは問題あり。表示を信じて通り過ぎたら、後から来た車をどんどん入場させていた。来場者をあざむくような運営態度はいけません。

種類を増やしてほしい

- ・自転車がほしかった(2名)
- ・大型家具、自動車部品等もあれば良い。(1名)
- ・子供が生まれるのでベビー用品を探しに来ましたがもう少し品揃え良いといいと思いました。特にベビー用品は高価な割には一時的にしか使わない物が多いと思うので、もっとPRしてもらって来年に期待したいと思います。
- ・本が少なかった。
- ・足ぶみマシンがほしかった。

今後への要望

来年も(今後も)やってもらいたい(参加したい)

- ・来年もやってもらいたい/参加したい(14名)
- ・年に1回といわず2~3回してほしい。
- ・大変ですが、またの開催期待してます!
- ・他の人にも伝えて、利用できればと思いました。

時間を早くしてもらいたい

- ・時間をもう少し早くしてほしい。

入場制限などの導入

- ・入場制限して20分ずつ入れ替えにする
- ・一人何分と決めて入場制限してほしい。
- ・1時間制限による、入替制。
- ・もう少し入場方法などを検討してほしい。

会場を広げてもらいたい

- ・もう少し大規模にしてもいいと思います。

託児所がほしい

- ・子どもが心配。託児所を用意してほしい。

イベントの参加しての感想

イベントが楽しかった (30名)

例)

- ・楽しかったです。はじめて来たけど楽しかった。
- ・最高にエキサイトしました。
- ・いろんなものあって、見ているだけでおもしろかった。
- ・たくさんあってまよいましたが、たのしかったです。

- ・探すのも楽しい。
- ・ほしいものがゲットできた。

予想以上の品ぞろえがよかった

- ・ほしい物があつたから、うれしかった。
- ・掘出し物を見つけて、嬉しかった。楽しかったです。
- ・めずらしいものがあるのでよいです。
- ・思っていたよりも物も多くてよかった。
- ・たくさんあつておどろきました。満足でした。
- ・思ったよりも充実していました。
- ・ほしいものがあつて本当によかった。
- ・子供用品が多くてびっくりしました。よかったです。

にぎわっているのが良かった / 驚いた (13名)

例)

- ・にぎわっていてよかった。
- ・すごい人数でおどろいた。
- ・思った以上に人がいた。
- ・活気があつてよかった。
- ・ビックリした。
- ・参加人数が思ったより多かった。

来年も(は)出品したい

- ・来年もあるなら、リユースできる物をおいておきたいです。
- ・こんなに盛大だとは思いませんでした。来年は商品も提供したいと思っています。
- ・今度は持ってこようと思います
- ・新品同様か未使用のものしか出せないものと思っていましたが、使いこんだものも多くみられ、持っていく方も多くいるようだったので次回はもっと出せるものがありそうです。

その他

- ・子供も楽しめて良かった。

その他

運営がよかった

- ・段階別にしたのがよかった。
- ・思っていた以上に回転が良かったので、スタッフさんの手際がよかったのかなと思います。いい心がけだと思います。

その他

- ・募金を募り震災等に寄附したら
- ・初めてなので、見学させてもらった。
- ・ころとんにあいたかった。
- ・市の役に立てるなら。

(以上)